

AIV トークン ホワイト ペーパー

「あなたの目、あなたの声」



2023.11.24.

目次

1. デジタル資産紹介
2. 技術的特徴
3. 現在と未来
4. 技術分野
5. 背景技術
6. AIVソリューション
 - 6-1 技術概要
 - 6-2 コア価値提案
 - 6-3 知的財産権(IP)の現状
7. ロードマップ
 - 7-1 市場参入戦略
 - AIVトークン決済ソリューションの開発
 - パートナーシップの拡大
 - AI多重音声ソリューション
 - 7-2 マーケットタケット
 - 7-3 技術高度化
 - ユーザー音声検証サービス
 - AI音声イコマースサービス
 - デジタルヒューマンライブラリー開発
8. 知的財産権(IP)ライセンス
9. ビジョン
10. ガバナンス(Governance)
11. 輸入
12. 法的通知

1. デジタル資産紹介

エイアイボイストークン（AIV）は、AI音声サービスが適用されるすべてのデジタルコンテンツプラットフォーム市場で時間と空間にこだわらず、いつでもどこでもやり取りすることができ、取引できる通貨を目的に設計されたデジタル資産です。

迅速な取引と完結性はもちろん、高度なセキュリティを維持する決済型ブロックチェーンネットワークを目指し、脱中央化、拡張性、セキュリティ性を同時に目標に誕生したバイナンススマートチェーン（BSC）ベースのブロックチェーンプロトコルです。

AIVは国内外の様々なデジタルコンテンツプラットフォーム内で決済手段として使用されるか、デジタルコンテンツ購入時の補償の目的で使用されます。

2. 技術的特徴

- AIVはバイナンスベースのスマートチェーンを使用しています。

Binance Smart Chain（BSC）は、マルチチェーン構造を持っているため、高いスループットと高速な取引速度を提供します。

- AIVはAIベースの多重音声サービスが可能な独自のデジタルAI音声ソリューションを開発し、国内外のデジタルコンテンツを提供する多数の企業にAIVの独自のAI音声技術サービスを独自に提供します。

3. 現在と未来

AIVは「みんなは、すべてのデジタルコンテンツを、AI音声でみんなで楽しめます。」というモトハに、AI音声サービス技術のエコシステム構築と拡張に努めています。

AIVは今後、国内外のグローバルデジタルコンテンツを提供するコンテンツ提供企業やマスコミ、ポータルなどと多様なパートナーシップを結び、AIVのエコシステムを拡大していくものと見えています。

4. 技術分野

AIVの技術は、AIベースのマルチボイスシステムを搭載したオンラインメディアサービスの実装方法に関するものです。

より詳細には、インターネット新聞や検索ポータルなど、さまざまなオンラインコンテンツプラットフォームでコンテンツを購読する際に目で読んで、見るとともに、読者自身を含む多数の人物の声で、そのコンテンツを読者が直接選択して聴くことができるようにする一連のコースのAIマルチオーディオシステムを搭載したオンラインメディアサービスを実装することにその目標があります。

5. 背景技術

従来、インターネット新聞などのオンラインメディアや検索ポータル、オンラインコンテンツプラットフォームなどで、オンライン記事やコンテンツの購読時には、単純なテキストのみで構成されたコンテンツを購読することが一般的でした。

しかし、オンラインメディア環境の変化により、読者のコンテンツ購読パターンもPCからモバイルに切り替わり、コンテンツを「読むこと」から「見ること」への進化も共になされている実情です。

現在と未来の場合、コンテンツを「聞くこと」にもっと関心と注目が集中しています。

さらに、さまざまなAI音声を使用すると、ユーザーが自分の好きな声を選択してコンテンツを聴くことができるようになります。

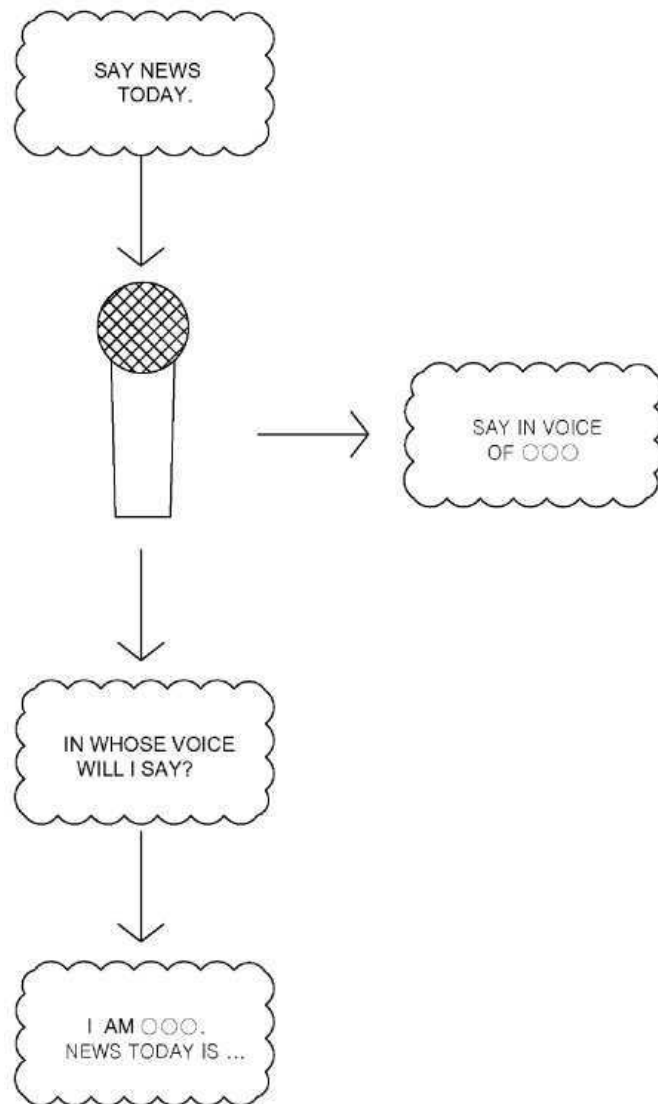
実際、現在のオンラインメディア環境でのコンテンツの購読方法は人の目を多く使用します。

しかし、これにより多くの人々が視力低下などの疾患にさらされており、また忙しい現代人の生活パターンでも目でのみオンラインコンテンツを購読することは時間的、場所的、環境的影響によってその活用度が低調になっていることも本当です。

これにより、AIVは現在のコンテンツ購読の方法を画期的に改善しようと、テキストに基づくコンテンツおよびすべてのデジタルコンテンツを音声で聴取できるように支援し、コンテンツを音声で聴取過程でもユーザーが望む声を直接選択して聴取できるようにするAI音声技術を披露するようになりました。

6. AIVソリューション

6-1 技術概要

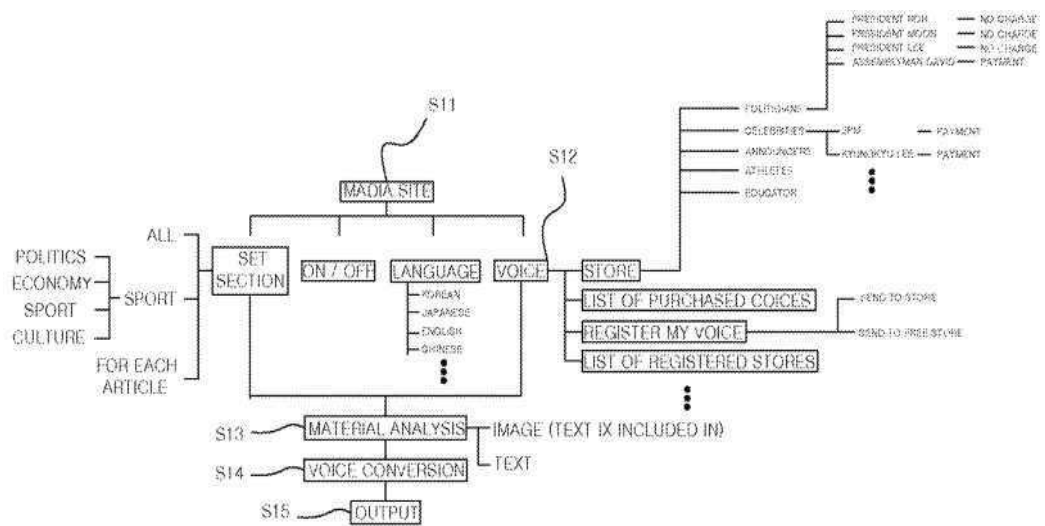


AIVの技術は現代人の多様な日常生活でも時間的、場所的、環境の影響を受けず、円滑なオンラインメディア購読活動の利便性を高める効果があります。

読者自身で自分の音声を録音したり、読者がライセンスを獲得した第三者の音声を録音することで、さまざまなオンラインコンテンツプラットフォームなどで自分の音声または読者がライセンスを獲得した第三者の音声でコンテンツを聴くことができます。

おそらく、私たちは今、AIVのAI音声技術を通じて、両親の声、おじいちゃん、おばあちゃんの声、有名政治家、芸能人の声などで、ユーザー自身が望む人の声でインターネットニュースを含むオーディオブック、ポータルなどで提供されるすべてのデジタルコンテンツを聴くことができます。

これにより、読者は特定のコンテンツを「より楽しく、より集中的に、より興味深く、より継続的に」購読を聴くことができます。



これに関連した詳細技術実装フローチャートを紹介します。

AIVは上記のように既に設定されたさまざまな分野の人物の声を「AI音声保存システム」に用意し、読者が特定のAI音声を選択して自分の好みに応じてコンテンツを聴くことができます。

また、読者は自分が好きな言語を直接選択し、選択した言語でも特定のコンテンツを聴くことができるようになります。

6-2 重要な価値提案

AIVはAI多重音声サービスの円滑な提供と国内外の様々なデジタルコンテンツプラットフォーム内で決済手段として使用されるか、デジタルコンテンツ購入時の補償の目的で使用するための知的財産権（IP）権利を確保しています。

AI音声技術関連

2018年からR/Dに本格着手し、現在まで米国、日本、大韓民国などグローバル市場進出のための技術ロードマップを構築しました。

AIVは、独自のAIマルチオーディオソリューションを通じて、グローバルデジタルコンテンツ市場で独自の決済手段やコンテンツ利用者の報酬として使用されます。

6-3 知的財産権(IP)権利確保現況

AIVはAI音声技術関連の知的財産権（IP）使用権を確保した多数のIPを運営しています。

- を備えたオンラインメディアサービスの実現方法複数の音声システム。

(US patent. patent No. US 11,521,593 B2)

- 音声システムの音声認証と制限方法。
- オンラインコンテンツのマルチプロダクション管理手法と検証。

7. ロードマップ

AVIは2018年からAI多重音声システム開発に着手し、多数のグローバルIPライセンスの確保とソリューション開発を完了しました。

しかし、これにとどまらずグローバル「AI VOICE GLOBAL ONE TOP」を目指し、技術の高度化を通じた持続的なR/D進行と、AIVの生態系拡張のためのネットワーク構築と活動を継続する計画です。

7-1 市場参入戦略

- AIVトークン決済ソリューションの開発

AIVは国内外のグローバルデジタルコンテンツ提供企業にAIVトークンの実際の商用化のための決済ソリューションを開発する計画です。

開発された決済ソリューションは、デジタルコンテンツ提供企業が運営するプラットフォームに適用され、AIVトークンの決済を行うこととなります。

- パートナーシップの拡大

AIVは、開発された「AIVトークン決済ソリューション」をもとに、現在国内外のグローバルデジタルコンテンツ提供企業に提供することで、AIVトークンの汎用的実用目的拡大のためのパートナーシップ拡張とエコシステム構築活動を継続していきます。

■ AI多重音声ソリューション

AIVは、自社開発したAIマルチオーディオソリューションを国内外のグローバルデジタルコンテンツ企業やプラットフォームに提供することができます。

また、当該ソリューション提供時のAIVトークン決済ソリューションも同時提供が可能です。

これにより、ユーザーはさまざまなAI音声をユーザーの好みに応じて自分の好きな声を選択してコンテンツを聴くことができます。

7-2 市場ターゲット

AIVの市場ターゲットを紹介します。

AIVの市場ターゲット部門において、企業クライアントはインターネット新聞社、オーディオブックプロバイダー、AIスピーカー、YouTube、Amazon、Google、ネイバーなどのポータル会社などのデジタルコンテンツ提供プラットフォーム会社です。

AIVは、上記のような企業クライアントが保有するプラットフォームなどにAIVの決済ソリューションとAI多重音声ソリューションを提供することになります。

これにより、ユーザーはAIVの企業クライアントが提供するデジタルコンテンツを聴くとき、ユーザーが望む声ですべてのコンテンツを思いっきり楽しく聴くことができます。

この時、デジタルコンテンツプラットフォーム社は決済手段でAIVトークンを提供できるようになり、サービス利用者はプラットフォーム社が提供する特定コンテンツを購入時にAIVトークンで決済が可能になります。

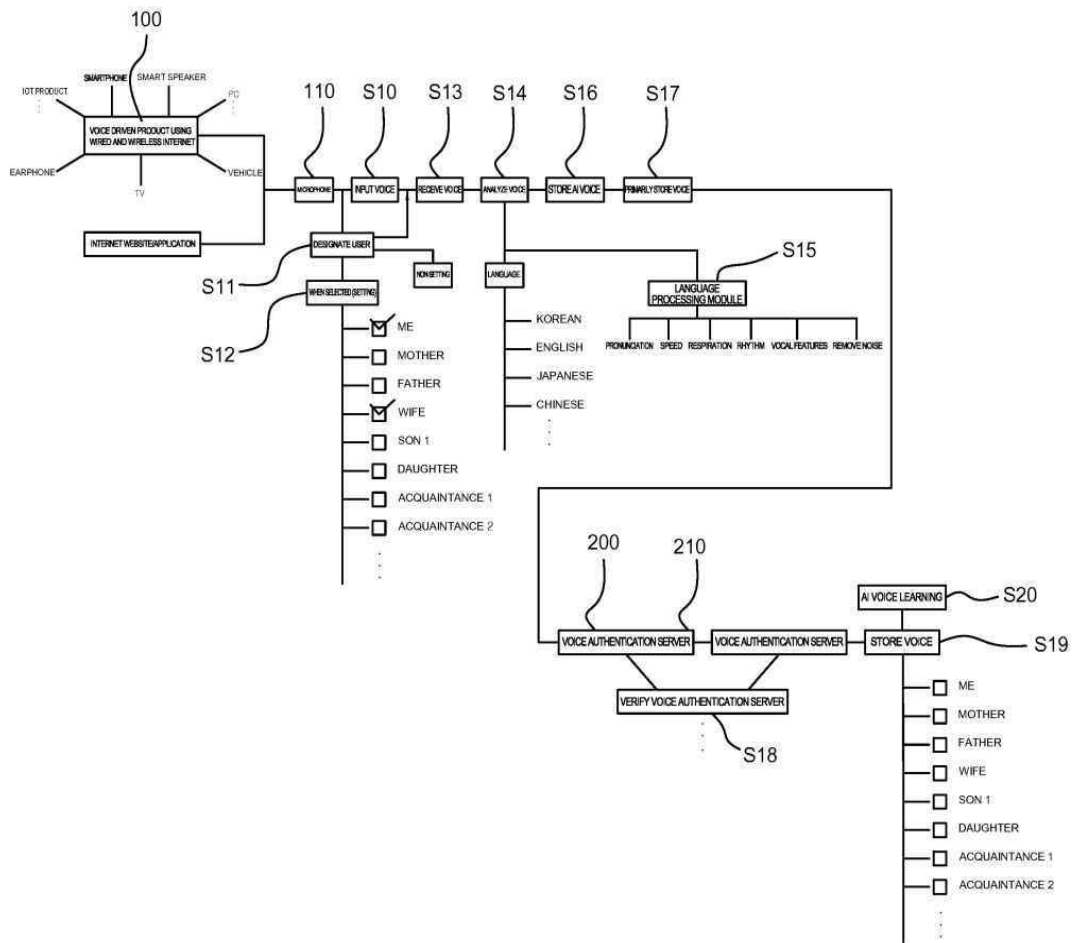
つまり、AIVトークンは、Google、Amazon、YouTubeなどのグローバル検索ポータルやビデオコンテンツプラットフォームなどから、実際の生活に触れるすべてのデジタルコンテンツの購読および購入のための活動に汎用的に使用されることを期待しています。

AIVは、国内外のグローバルデジタルコンテンツプラットフォーム社とのコラボレーションを通じて、AIVトークンの流通と実用を積極的に展開していく計画です。

7-3 技術高度化

AIVは、決済ソリューションとAIマルチオーディオソリューションによるエコシステムの拡大、そしてAI音声技術全体にわたる技術高度化のための研究開発を続けていきます。

■ ユーザー音声検証サービス



AI音声関連業界にとって最も重要な項目の1つは、ユーザーの声を検証する技術です。

今後取り組む未来は、ユーザーが自分の音声でデジタルコンテンツを聴くことはもちろん、ショッピング、決済、注文、身元認証など、多様な音声サービス社会への参入と大転換の時代が広がるという事実です。

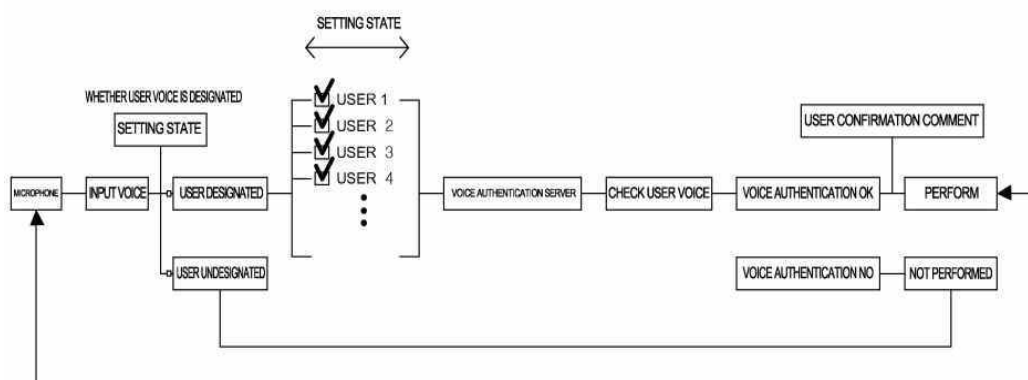
この時すぐに最も重要視されるのが「ユーザー音声検証システム」技術になるでしょう。

ユーザーの声だけがシステムを操作する必要があります。

レプリケートされた音声、サードパーティの音声でもユーザーの特定の

デバイスが機能すると、ユーザーは致命的な経済的損失と被害を引き起こします。

AIVは、複数の証明書バーにユーザーの音声を保存して相互比較検証し、言語処理モジュールを利用してユーザーの音声を感情状態別に保存することで、ユーザーの音声を正確かつ安全に認識して検証できる音声端末の音声検証および制限方法を提供します。



これにより、音声認識機能が搭載されている端末で他人の無断使用および個人情報漏洩を防止することができます。

当該技術は、移動または携帯可能な形態または据え置き形態で、より具体的には、携帯電話、ノートブック、タブレット、コンピュータ、ヘッドセット、イヤホン、ブルートゥース、スピーカー、モノのインターネット（I O T）製品以外の自動車、船舶、飛行機のいずれか一つ端末に適用して技術を実施することができる。

AIVは今後繰り広げられるAI音声時代の大変革期に合わせて最も重要視される該当技術の研究開発を進めており、技術高度化を図り、汎用的実用を引き出すために努力していきます。

■ AI音声イコマースサービス

AI音声イコマースサービスは、有無線インターネット網を通じて携帯電話などのデバイスからデジタルコンテンツを聴取する過程で、ユーザーの音声だけでもショッピングが可能になる未来の技術です。

AIVは人工知能を活用した個人化音声イコマースサービスのための研究開発を進めています。

その技術が実装されている場合、ユーザーはコンテンツを聴く過程でもユーザー自身の音声コマンドだけで様々なオンラインショッピング活動を行うことができるようになります。

■ デジタルヒューマンライブラリー開発

AIVはデジタルヒューマンライブラリー構築を通じて認知症患者、高齢者の家族、幼児時代の声など「デジタル永遠の命」のための本人はもちろん、家族の声を永久に保管して子孫と会話ができ、携帯電話にアラーム、天気予報、ニュース読書などにも使えるビジネスモデルを構築し、R&D計画中にあります。

8. 知的財産権(IP)ライセンス

AIVは、独自の研究開発を通じて確保したAI音声関連源泉技術と、米国、日本、韓国などに使用权を確保した知的財産権(IP)をもとに、国内外のグローバルデジタルコンテンツ企業を相手にしたIP経営活動を進める計画です。

9. ビジョン

AIVが追求するAI音声コンテンツ市場のエコシステムを紹介しつつ、AIVが追求するビジョンを提示します。

エコシステムは、プラットフォーム事業者、コンテンツプロバイダ（CP）、音声IPプロバイダ（個人または企業）、サービス利用者、取引所などに分けられます。

サービス利用者がAIVトークンを決済手段として消費すると、プラットフォーム事業者はCPまたはIPプロバイダと協議されたレートに従って当事者の財布にAIVトークンを転送します。

CPとIPプロバイダーは、必要に応じて取引所でAIVトークンを交換したり、財布に保管したりできます。

CPと声IPプロバイダーは、自分のコンテンツに対するインセンティブを最大化できます。

また、最適消費量に比例したトークン配分の報酬システムにより、より多くのCPおよびIPプロバイダに報酬を提供できるようになります。

今後、AIVは多数のAI音声を選択して購入できる「音声ショッピングモールソリューション」を構築する計画を持っています。

その計画が実現されれば、ユーザーはそのボイスショッピングモールを通じてユーザー自身の声も販売でき、さまざまなAI音声も購入できるようになります。

10. ガバナンス (Governance)

AIVはホルダーの投票を通じてDAO形態のガバナンスを通じて行われます。

AIVはバイナンススマートチェーン (BSC) をベースとしたBEP20トークンとして発行されるため、DAOのガバナンス機能もBSCのスマートコントラクトに基づいて動作するようになります。

11. 輸入

AIVには次のような収入源があります。

- AIマルチオーディオサービスソリューションの提供（企業およびユーザー）
- デジタルコンテンツプロバイダプラットフォームAIVトークン決済時の手数料
- 知識財産権（IP）ライセンス

12. 法的通知

このホワイトペーパーは、AIVプロジェクトが推進しようとするAIベースのマルチ音声サービスプラットフォームおよび決済システムサービスに関する事業内容とビジョンに関する情報を提供することを目的としています。

お客様は、本文書および文書に記載されている情報にアクセスする際に、以下の事項に同意することをAIVに無条件で不可逆的に表明および保証します。

(1).規制国で文書にアクセスできない

特定の管轄区域の個人または特定の範囲に属する個人がその文書を表示することは合法的ではない場合があります。

当該ホワイトペーパーを閲覧する個人は、まず、本書の閲覧を禁止または制限する法律または規制に該当することを確認する必要があります。

具体的には、関連する法律および規制で許可されていない限り、この文書に記載されているコインまたはトークンの販売に参加することを禁止されている国では提供しないでください。

AIVは、本文書へのアクセスを禁止する法律または規制がある地域および文書の一部が違法である可能性がある地域では、本ホワイトペーパーにアクセスする個人に対して責任を負いません。

これに伴うリスクは自ら監修しなければなりません。

(2).情報目的

AIVの従業員、役員、またはアドバイザーは、すべての情報に対していかなる種類の保証もせず、明示的および黙示的な保証および条件を否定します。

AIVは、これらの情報および情報の誤り、欠落による結果、およびその結果生じる結果について、お客様または第三者に責任を負いません。

AIVに関するホワイトペーパーに含まれる情報には、「将来見通しに関する声明」と見なされる言及が含まれる場合がありますが、これは歴史的事実に基づく記述ではありません。

このような未来展望の陳述は「目的とする」、「目標とする」、「予想する」、「信じる。」「できる。」「推定する。」

’期待する’、’もし’、’意図する’、’することもできる。’、’計画する。’

「「する」などの将来の見通しの言葉を含めるか、それを利用することができます。」

これらの用語は他にもあります。

将来見通しの記述には、将来の出来事や状況に関連するリスクと不確実性が内在しています。

したがって、AIVの予想ロードマップ、開発、予想条件、パフォーマンスに関する本文書の見積もり、予測値を含む意見、および将来の見通しに関する情報は、主観的、選択的であり、更新、拡張、改訂、独立した検証などによっていつでも修正および変動する可能性があります。

AIVは、本ホワイトペーパーに記載されている情報の真実性、正確性、完全性に関するいかなる表明、保証、または約束を行いません。

また、AIVは法律で要求される範囲以外には、将来の見通しの記述を更新または修正する義務や約束に対して明確に責任を否定し、AIV関係者の将来の見通しの記述に言及されているすべての状況が実際に発生すると主張または表明、保証しません。

AIVは、このホワイトペーパーに記載されているすべての目標を達成するために努力する予定であり、予期しない変数や状況によって目標を変更することができます。

(3).提案なし

このホワイトペーパーは情報提供目的でのみ作成されており、いかなる形の投資、その他の金融商品に対しても購入、販売、申請、買収を提案または形成しません。

また、本文書のいかなる部分においても、いかなる方法でも、これに関連する契約または投資決定を行うことを提案するものではなく、これらの決定の根拠として使用または依存することはできません。

(4).通知なし

本ホワイトペーパーのいかなる内容も法律、金融、税金、その他の通知には該当しません。

お客様は、独自のデューデリジェンスを実施し、管轄区域内のデジタル資産、税金、証券、その他の規制に関するすべての現地の法律を遵守しなければなりません。

この問題は、関連する専門家とあなたが個別に相談を通じて確認してください。

(5).規制リスク

現在、多くの管轄区域で、デジタルマネー、デジタル資産、ブロックチェーンアプリケーションを含むデジタルトークンの規制状況は明確ではないか不安定です。

したがって、本文書の発行および配布が関連する法律、規制、規則に準拠したことを意味するものではありません。

いかなる規制当局もこの文書をレビューまたは承認しませんでした。

関連政府機関が法規制および規則を変更する場合、金融機関が特定の商業的決定を下す場合、ホワイトペーパーに記載されているすべての関連事項が意図したとおりに機能または機能する能力に重大な影響を与えるか、またはその能力を損なう可能性があります。

また、本ホワイトペーパーをいかなる契約または定義の基礎として使用してはなりません。

(6).その他

この文書にはAIVに関する情報が含まれていますが、AIVの全内容を表すものではありません。

本ホワイトペーパーの内容は、経営陣の判断だけでなく、関連する法律および規制、事業状況、業界の見通しの変化に応じて変更または変更されることがあります。

さらに、政治、社会、経済、株式、デジタル資産の市場状況の変化が発生する可能性があり、関連するブロックチェーンシステムとトークンを受け入れて採用することはほとんどありません。不可能になる可能性があります。

なお、AIV関連第三者のウェブサイトや情報源への参照がなされた場合、当社は、当該出所に参照された情報の正確性、完全性、適時性に関する追加の検証を要求していないことがあり、これに関連するいかなる保証もしないではありません。

ありがとうございます。